



2024年6月

JA尾道総合病院 病院長：田中 信治
副院長・がんセンターボード運営会議長：花田 敬士
診療情報管理科 がん登録室

今回のテーマは **前立腺がん** です。

【“前立腺がん”における院内がん登録ルール】

UICC TNM 分類 [第8版] “前立腺”での病期分類適応対象は**腺癌のみ**です。

- ※ 小細胞癌・神経内分泌癌は、前立腺では**腺癌の亜型/変異型に分類**されているので病期分類適応対象。
- ※ 前立腺の移行上皮癌は“前立腺”での病期分類適応対象外。⇒“尿道”で病期分類する。
- ※ 扁平上皮癌・腺扁平上皮癌・基底細胞癌・未分化癌などは、病期分類対象外にて「該当せず」を付与。
- ※ 前立腺癌の「上皮内腺腫瘍 高異型度 (PINIII)」は登録対象外。

◆ 局在コード

ICD-O-3の前立腺の局在コードは、すべて **C61.9** です。

◆ 形態コード (病理組織型)

UICC TNM 分類 第8版のG分類変更に伴い、Gleason score を形態コード6桁目に反映せず、2018年症例からは、**前立腺 腺癌**の形態コードは「**8140/39**」で登録することになりました。

G 因子	Gleason スコア	Gleason パターン
GX	不明	不明
G1	≤6	≤3+3
G2	7	3+4
G3	7	4+3
G4	8	4+4, 3+5, 5+3
G5	9~10	4+5, 5+4, 5+5

* Gleason 分類は、1966年 DrDonald F.Gleason によって考案された前立腺癌の組織学的悪性度の指標であり、現在、国際的に最も広く使用されています。

* 前立腺 Gleason score の情報は、**G 因子**として、院内がん登録標準登録様式“付加因子”の項目へ GX~G5 で登録することとなりました。

◆ TNM 分類

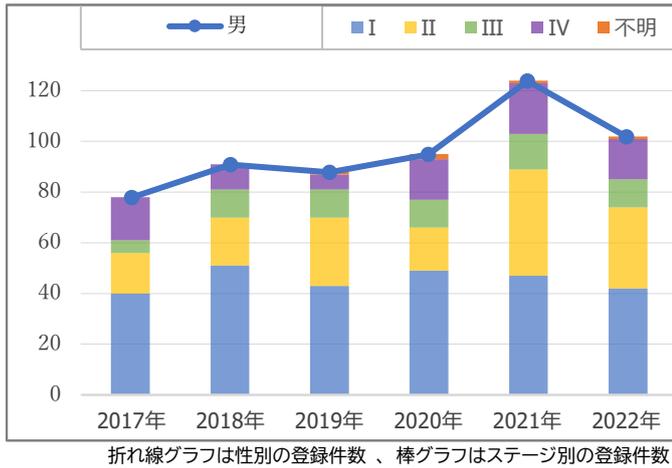
UICC TNM 分類 第8版から「pT2」の亜分類が削除されたことを受け、院内がん登録ではここ数年「pT2」の亜分類の扱いが下記のように変化しています。

<p>T2 触知可能で前立腺に局限する腫瘍</p> <ul style="list-style-type: none"> ・T2a 片葉の 1/2 以内の進展 ・T2b 片葉の 1/2 をこえ進展するが、両葉には及ばない腫瘍 ・T2c 両葉へ進展する腫瘍
--

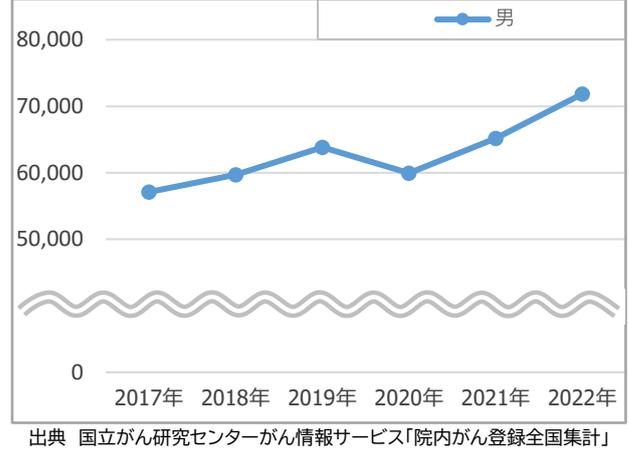
◆前立腺癌の「pT2」の亜分類の扱い		
2018年~2021年	2022年	2023年~
<ul style="list-style-type: none"> ・院内がん登録では「cT2」の亜分類に基づき「a, b, c」を用いる ・術後病理学的検査所見から「pT2」の亜分類「a, b, c」を決定し、術後病期に反映する 	<ul style="list-style-type: none"> ・病理学的検査所見から「pT2」の亜分類情報が得られない場合は「pT2」とし「pT2N0M0」症例の術後病期(pステージ)を「II」とする 	<ul style="list-style-type: none"> ・術後病理学的検査所見から「pT2」の亜分類を決定する情報の有無に関わらず亜分類は不要 ・「pT2N0M0」症例の術後病期(pステージ)は「II」とする

***注意**) 2022年まではpT2aN0M0はStage Iで、2023年からは亜分類不要のためpT2a症例はStage II以上となる

◆当院の前立腺がん登録件数 と ステージ別 登録件数



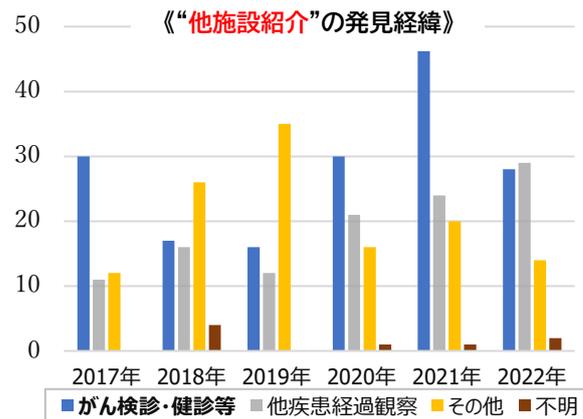
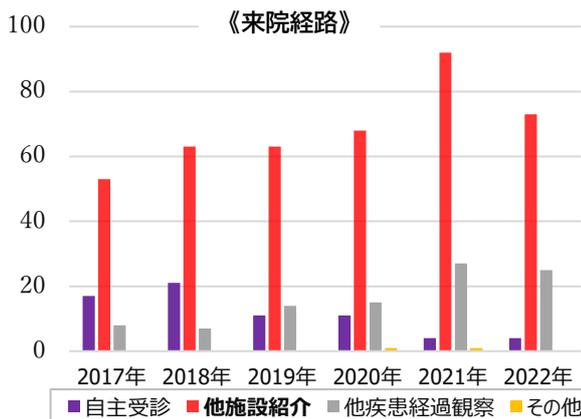
◆全国集計：がん診療連携拠点病院等における 前立腺がんの全登録数 (男女別、都道府県推薦病院、小児がん拠点病院 6 施設、任意参加病院を除く)



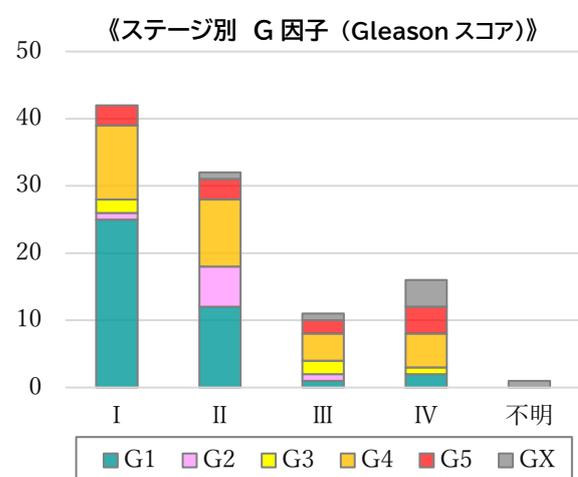
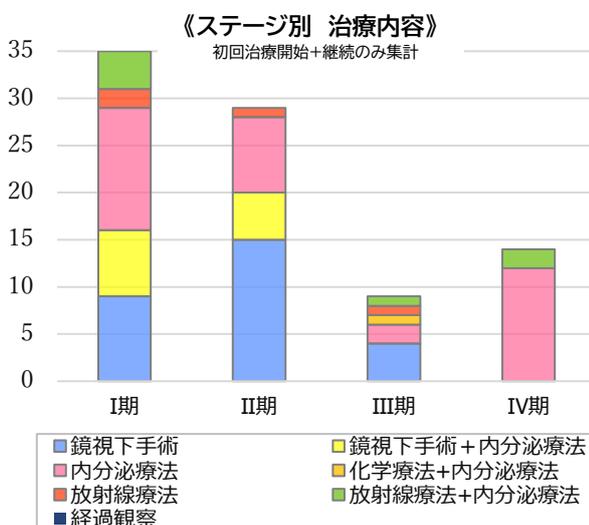
右上の全国集計より前立腺がんの登録件数は年々増加しています。2017年からは、男性の部位別がん罹患数1位*となつています。当院では、2021年に大きく増加が見られました。下記の表より、2021年は「来院経路」では「他施設紹介」が他年より20件多く、その内訳を「発見経路」別にするると「がん検診・健診等」を理由に紹介された方が他年より多くいました。

*国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」(全国がん登録)より

◆当院の 前立腺がん 登録状況より



◆当院の 2022年 前立腺がん登録状況より



次回は「食道がん」についてです。